

令和6年(2024年) 秋号

埼玉県議会議員

吉川・松伏のために!! 県東南部の連携強化

松澤 正 県政報告

〒342-0042 吉川市中野29 サンパレス5-202
Tel. 048-945-0992 / Fax. 048-918-3026
E-mail. info@matsuzawa-tadashi.com

発行:埼玉県議会自由民主党議員団

役職 埼玉県議会副議長 / 所属委員会 環境農林委員会

県議会9月定例会報告

補正予算

【第1号】約50億1千万円
【第2号】約37億8千万円 等を議決

県議会9月定例会は9月25日から10月16日までの日程で開催され、一般会計補正予算【第1号】50億1,156万2千円、補正予算【第2号】37億7,531万7千円、さらに、私たち自民党議員団が提案した「県こども・若者基本条例」等を議決しました。

補正予算【第1号】は、県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実や新生児マススクリーニング検査の対象拡大のための予算措置、公共事業の追加・適正工期の確保など、当面对応すべき事業等が盛り込まれました。補正予算【第2号】は衆議院議員総選挙等に伴う経費で、その財源は全額国庫支出金となります。



県議会副議長として議事を進行(10月3日)

皆様からのご意見を参考に審議を重ね提案

埼玉県こども・若者基本条例



「県こども・若者基本条例」は、子ども政策に子どもたちの意見が反映される仕組みづくりや、子どもたちから意見を引き出す人材の育成・確保に取り組むことを掲げています。また「①子どもらが有する権利を保障する。②子どもらの最善の利益を優先する。③保護者が子育てに希望を感じ、幸せに過ごすことができる環境を整備する。④社会全体で子育てを支える。」ことを基本理念として県の責務を明記。国や市町村との役割分担を踏ま

えながら、子育て支援などの施策を総合的、計画的に進めるよう求めるとともに、県民や学校、民間支援団体などに対しては、施策への協力を働きかける内容となっています。

施行は令和6年10月18日からです。

※埼玉県こども・若者基本条例の全文はこちらからご参照ください。➡



通学支援の充実による医療的ケア児の保護者の経済的負担の軽減.....7,153万3千円

概要

医療的ケア児の福祉タクシー等による通学に同乗する看護師費用の支援に要する経費を増額する

事業イメージ

登校時の場合

医療的ケアの例

利用者の自宅

たん嚥吸引
人工呼吸器

訪問看護St等

福祉タクシーに同乗する
看護師費用の支援

学校

効果

医療的ケア児の保護者負担の軽減



新生児マススクリーニング検査に関する実証.....1億4,138万5千円

概要（国の実証事業への参加）

*さいたま市を除く県内すべての分娩取扱機関で出生した新生児

2疾患を追加した検査の対象を**全新生児***に拡大する

➢ 対象疾患

重症複合免疫不全症(SCID)

出生直後から重篤な感染症を繰り返す疾患

脊髄性筋萎縮症(SMA)

筋力低下、歩行障害等をきたす遺伝子疾患

➢ 実施機関数 25 ⇒ 86機関

(8月末時点)

(さいたま市を除く
県内分娩取扱機関)

採血の様子
(かかとから採血)



検査体制

新生児・保護者

①同意 分娩取扱機関

検査機関

②検体採取(採血)

③検体送付

④検査結果

⑤検査結果説明

陽性の場合、精密検査
医療機関への受診勧奨

早期診断・早期治療へ



副議長として公務に日々邁進

防犯のまちづくり街頭キャンペーンに参加

防犯のまちづくり議連による街頭キャンペーンが10月11日、JR浦和駅にて行われました。大野知事も参加し、自転車のチェーンロックの配布をしました。



エスカレーターの安全利用キャンペーンに参加

今年は「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が施行されて3年となる事から、鉄道事業者と連携して、県内主要駅にて安全利用キャンペーンを行っています。9月20日は八潮駅にて、県民生活部長をはじめとする県職員、八潮市職員、そして首都圏新都市鉄道(株)と日本生命保険相互会社八潮営業所の方々が参加し、利用者の皆さまに「エスカレーターは歩かず走らず」と訴えました。



9月26日はJR浦和駅にて、大野元裕知事はじめ浦和商業高校アウトドア部の生徒、文京学院大学経営学部学生、JR東日本(株)、さいたま市職員、日本生命社員、伊勢丹浦和店社員、ハルコ浦和店社員、県理学療法士会の皆さまも参加してくださいました。

赤い羽根募金活動に参加

毎年恒例となります福祉振興議連の「赤い羽根募金活動」を10月1日、JR浦和駅で行いました。大野元裕知事はじめ、さいたま市立高校と浦和ルーテル学院初等科の生徒有志も参加されました。



「治水の日」慰霊・継承式典に参列

第30回「治水の日」慰霊・継承式典が9月13日に開催され、県議会を代表して参列しました。加須市新川通地先にあるカスリーン公園のカスリーン台風決壊口跡の碑を前に、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、この教訓を風化させることなく後世に語り継ぎ、治水整備にしっかり取り組むことを誓いました。



吉川美南高校でのシェイクアウト訓練に参加

県立吉川美南高校で9月2日、始業式後のシェイクアウト訓練に参加させていただきました。訓練の後には3年生の教室にて、訓練についての感想などをお聞きすることができました。みなさんご協力、ありがとうございました。



「風水害対応訓練」を実施しました

9月30日、県は「風水害対応訓練」を実施しました。朝8時半に知事が「埼玉県災害本部」を設置したことを受け、45分に斉藤邦明議長が「埼玉県議会災害連絡本部」を設置するとともに、議会事務局より各議員に一斉メールにて『①安否状況、②所在地、③自宅や周辺の被害状況、④地元の情報、等』の収集を実施。その報告に基づきオンライン会議が開催され、意見収集の結果と対応を協議しました。初の試みでしたが、昨今の災害多発に備えてさらに強化していきたいと思ひます。



県議会災害連絡本部によるオンライン会議の様子。写真中央は斉藤邦明議長、右側は宇田川幸夫警察危機管理防災委員長。

吉川中央病院50周年記念式典に出席

地域医療の拠点として高度な医療を提供し続けている吉川中央病院が今年、開院50周年となります。10月5日には記念式典が開催され、土屋品子代議士(前復興大臣)とご祝辞を申し上げます。長く、吉川市民はじめ近隣の方々の健康と生命を守る事に従事され50年。今後も変わらぬご尽力をお願い致します。



(株)丸和運輸機関様が寄附に来庁

埼玉県こども動物自然公園では、オーストラリアに生息するクオッカを飼育しており、新たな施設を整備するためのクラウドファンディングを9月末を期限に行っていました。9月30日、(株)丸和運輸機関様が伊藤高副知事に寄附を届けに来庁されました。当日は動物園が休園日ということもあり、田中理恵子園長も同席され、クオッカの魅力等をご紹介いただきました。



写真左から伊藤高副知事、田中理恵子園長、株式会社丸和運輸機関 和佐見勝代表取締役社長、私

自民党看護振興懇話会に出席

9月定例会会期中の9月27日、県議会にて自民党看護振興懇話会が開催され、看護協会の皆さまと看護を取り巻く環境や今後の課題などについて意見交換を行いました。



県議会常任委員会

環境農林委員会に出席

10月2日の県議会は常任委員会の開催日で、私は所属する環境農林委員会に出席しました。

はじめに環境部から「第84号議案 埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例に係る手数料に関する条例」の審査があり、質疑答弁の後、総員をもって可決

となりました。次に農林部からは行政課題の報告として、埼玉県農林関係研究機関が育成した品種『①水稻新品種「えみほころ」、②ニホンナシ新品種「彩姫・彩彦」、③茶新品種「さやまあかり」、④少花粉スギ』についての説明があり質疑応答。その後、所管事務調査として、国が実施している「みどりの投資促進税制」の詳細について、質疑が行われました。写真は委員会開会前の様子。



松澤正県議会議員事務所

〒342-0042 吉川市中野29 サンパレス5-202 TEL. 048-945-0992 / FAX. 048-918-3026



松澤正

